

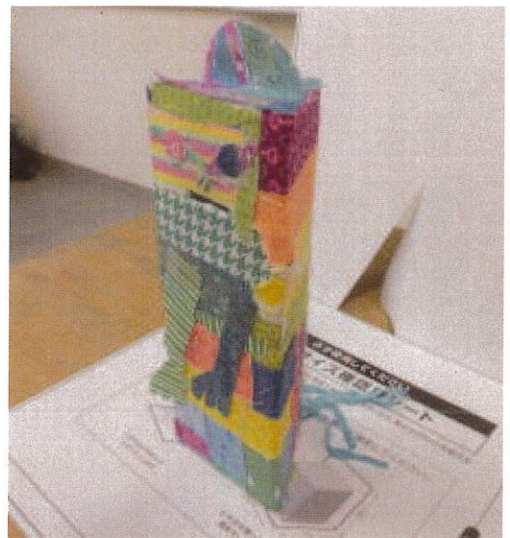


「児童たちのためにできることを」

美山小学校長 村上 順一

12月（師走）となり、5月から始まった令和元年（平成31年）も残り少なくなってきました。今年には天皇の即位にともなう数々の行事等により、ゴールデンウィークが10日間になる等、特別な一年でした。しかし、地域の皆様や保護者の皆様のご協力により児童の事故等、何事もなく終わりを迎えられること心より感謝申し上げます。

さて、まずはうれしいニュースから。1年生の赤井さんが夏休みに作った「アイデア貯金箱」が全国の小学生70万人以上が応募した「第44回うちよアイデア貯金箱コンクール」で最終選考まで残り、その結果「すてきなデザイン・アイデア賞」を受賞しました。12月7日（土）の新聞でも紹介をされました。作品は全国の様々な会場でこれから1年間巡回展示されていくそうです。私も近くで展示されるときに観にいきたいと思います。



赤井さんの受賞作品



テレビ・パソコン等



児童の発表の様子

また、ポータルサイトでも紹介させていただきましたが、学校に4Kチューナー内蔵50インチのテレビ2台、ノートパソコン2台、その他ICT機器を購入しました。次年度から始まるプログラミング教育に向けての一つの準備です。この費用の大半は学校にいただいた2つの助成金でまかっています。

1つめは教育公務員弘済会研究論文に応募していただきました。先生方の日々行っている授業を研究論文としてまとめたものを提出しました。その結果「優秀」（県内で2番目に優れているという評価）であると認められ、幸運にも助成金をいただきました。

2つめは中部電力様からいただいたものです。これは先生方が今年度研究したいことに対する助成金です。学校では現在、次年度の教育内容について考える時期となってきました。その中で「生活科」や「総合学習」を中心に「美山だいすき科～地域を愛し、貢献できる児童の育成」をテーマとして、地域とともに何かできることは、または、地域のためにできることはないか、と考えているところです。その考えに賛同していただいた中部電力様から助成金をいただいております。

授業では田村市教育委員会から配置されたタブレット（iPad）とともに先生方が早速テレビを使って授業をする姿が見られています。少人数で授業を行う美山小学校には、ちょうどよい大きさの画面だと思います。そして、児童たちがタブレットを使いながらいきいきと発表する姿は頼もしく見えました。これからも児童たちのためにできることを一つ一つ実行して参ります。

10月30日～12月9日までの活動写真



福島ファイヤーボンズの選手とともに



全学年交流給食



食に関する指導5年生



図書館へ行こう



低学年町探検



低学年読み聞かせ



さつまいも調理1・2年



ゴミ拾い5年



中学校体験授業6年生



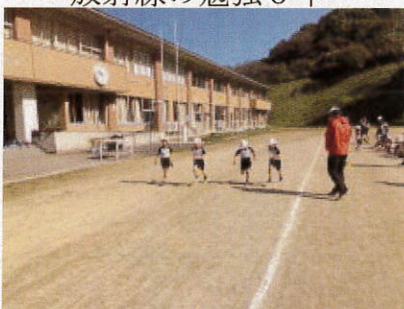
放射線の勉強6年



放射線の勉強1・2年生



放射線の勉強3・4年



持久走記録会1・2年生



持久走記録会3・4年生



持久走記録会5・6年生

